

「運用基準22使用者制限の解除」における必要書類

番号	申請図書	作成の要領等
1	建築許可申請書（正本鑑） （42条：様式44、43条：様式46） 建築許可通知書（副本鑑） （42条：様式45、43条：様式47）	・神戸市HP「開発許可申請様式集」参照。エクセル文書で入力可能です。 https://www.city.kobe.lg.jp/a35466/business/kaihatsu/kaihatsukyoka/shigaikakuiki/jorei_youshikishuu.html
2	委任状	・申請を第三者に委任する場合に提出してください。 ・委任者印及び受任者印を押印してください。 ・正本には原本を、副本には写しを添付してください。
3	建築物利用計画書	・別紙「記載例」を参照
4	法第34条14号（立地基準）に関する必要な図書	要件3(1)：許可又は建築確認後、10年以上適正に使用されていることがわかる資料 （例①：過去の住宅地図等で10年以上の建物使用が確認できる、例②：住民票の写しもしくは戸籍附票で10年以上の建物使用が確認できる等） 要件3(2)：やむを得ない事情を示す理由書
5	位置図	・方位を記入し、申請区域を赤実線で囲ってください。
6	公図（字限図、国土調査図、法14条地図、換地図など）	・正本には原本（申請日から3ヶ月以内に発行されたもの：写しを提出する場合は原本照合を行います）を、副本には写しを添付してください。 ・登記官印のない場合、転写場所・日付・転写人を記入押印してください。 ・申請区域を赤実線で囲ってください。
7	土地登記簿謄本 （建物登記簿謄本）	・正本には原本（申請日から3ヶ月以内に発行されたもの：写しを提出する場合は原本照合を行います）を、副本には写しを添付してください。 ・建物登記が存在する場合は、建築物の登記簿謄本も必要です。
8	敷地現況図 兼土地利用現況図 兼排水現況図	・方位を記入し、申請区域を赤実線で囲ってください。 ・写真撮影方向（矢印）及び撮影地点（番号）を記入してください。 ・既存排水施設（敷地内雨水・汚水）の経路・流向を記入し、雨水：青色、汚水：茶色に着色し、各々の凡例を記入してください。 ・図面等がない場合は、手書き図面（Non Scale）でも可能です。
9	現況カラー写真	・申請区域を赤実線で囲ってください。 ・各写真に撮影地点番号等を付してください。
10	既存建築物が適法であることがわかる公的資料	・建築計画概要書、建物（閉鎖）登記簿謄本、固定資産課税台帳登録事項証明書、航空写真、農地基本台帳の写し等（担当者にご確認ください。）
11	その他必要と認める書類	・その他必要な書類については別途指示します。 ・敷地面積が不明な場合 例：敷地求積図（座標求積または三斜求積。敷地の辺長を記入してください。） ・他法令の許可書や届出書の写し

1. 申請時に申請手数料の納付書を発行しますので、金融機関で納付してください。（納付日＝受付日）
2. 令36条1項3号ホを根拠に許可を受ける場合は、神戸市開発審査会に付議するため別途資料が必要な場合があります。審査会の資料・日程等については、別途説明します。

開発許可等申請様式集



建築物利用計画書（記載例）

- 1 申請者 住所 神戸市〇区〇〇町〇番地〇
氏名 神戸 太郎
- 2 申請場所
(1) 所在地 神戸市〇区〇〇町〇〇字〇〇 〇〇番〇
- 3 申請面積・所有者等
(1) 面積 〇〇. 〇〇㎡（公簿〇〇. 〇〇㎡）
(2) 地目 宅地
(3) 土地所有者 住所 神戸市〇区〇〇町〇番地〇
氏名 神戸 太郎
- 4 目的 （例）農家住宅を一般住宅に用途変更する。
- 5 土地の現況
現況写真のとおり。
- 6 既存建築物
(1) 用途・構造 戸建専用住宅・木造2階建て
（敷地内に不可分な建築物が複数棟存在する場合は、全て記入してください）
- 7 既存排水状況
(1) 敷地内排水 （例）敷地の〇側にU字溝で集水し、北側の既存道路側溝に放流する。
(2) 生活雑排水 （例）農業集落排水に排水する。
(3) し 尿 （例）農業集落排水に排水する。
(4) 流末処理 雨水：（例）北側既存道路側溝 汚水：（例）北側農業集落排水
- 8 他法令の手続き状況
（農地法等他法令の手続きが必要な場合は記入してください 非農地証明など）